

# 11月9日～15日は 秋の火災予防運動週間です

2021年度全国統一防火標語

「おうち時間 家族で点検 火の始末」



これからの季節は、火を使う機会が増え、空気が乾燥するため、火災が発生しやすくなります。ストーブやガスこんろなどの使用の際は、注意が必要です。

また、火災が発生したときに備え、住宅用火災警報器、住宅用消火器を設置して、被害を最小限に抑える対策を取りましょう。

## 防火ポスター最優秀賞・優秀賞の決定！

市内小学校の4年生～6年生の児童を対象に防火ポスターを募集し、審査の結果、最優秀賞を川崎小学校6年生 西村心寧さん、優秀賞を川崎小学校5年生 山崎柊齊さんが受賞しました。各作品は火災予防運動のポスターに使用し、広く皆さんの防火意識の高揚に活用します。



最優秀賞作品



優秀賞作品

## 高齢者の皆さんへ

近年の全国火災統計によると、住宅火災による死者の約7割を65歳以上の高齢者が占めています。また、住宅火災による死者の約半数は、逃げ遅れによるものです。住宅火災から大切な命を守るため、4つの習慣・6つの対策を実行しましょう。

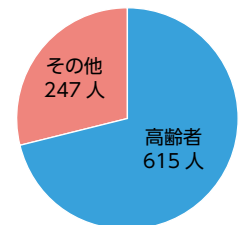
### 4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない
2. ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
3. こんろを使うときは火のそばを離れない
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

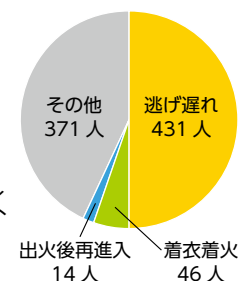
### 6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は**安全装置**の付いた機器を使用する
2. 火災の早期発見のために**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、**防災品**を使用する
4. 火を小さいうちに消すために、**消火器等**を設置し、使い方を確認しておく
5. 高齢者や身体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う

住宅火災における死者発生状況  
(放火自殺等を除く)



住宅火災で亡くなった人のうち  
最も多いのが**逃げ遅れ**です



## 住宅用火災警報器について



市では、すべての住宅への住宅用火災警報器の設置を義務付けています。まだ設置していない場合は、火災から大切な生命を守るために、早急に取り付けましょう。また、設置から約10年経過すると、電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなる恐れがあります。定期的に点検を行い、故障がない場合でも、設置から10年を目安に交換しましょう。

問合せ先 消防本部予防課予防グループ (☎82-9492)